

第62回全国国立大学法人病院検査部会議要旨

期 日：平成27年6月11日（木）～12日（金）

会 場：JRクレメントホテル高松（香川県高松市浜ノ町1-1）

当番校：香川大学

出席者：各大学の検査部長、技師長等 85名

I 1日目 平成27年6月11日（木）

18:00～20:00 JRクレメントホテル高松 3階 飛天

検査部会議懇親会

II 2日目 平成27年6月12日（金）

8:30～15:00 JRクレメントホテル高松 3階 飛天

1 開会 9:00～9:30

進行係（香川大学医学部小野 浩三 総務課長）から配付資料の確認があり、開会宣言の後、当番校である香川大学医学部附属病院の横見瀬 裕保 病院長および村尾 孝児 検査部長から挨拶があった。その後、慣例により議長に当番校の村尾部長を提案し、了承され議事に入った。引き続き、議長から文部科学省の陪席者の紹介が行われた。さらに、平成26年度の新任の検査部長5名、技師長7名、医療技術・診療支援部長2名の紹介があった。

2 第一部 特別講演 9:30～10:20

矢富 裕 東京大学検査部長を座長とし、文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室 小川 優 病院第一係長から、「大学病院を取り巻く諸課題について」と題し、①平成27年度予算について、②医学教育の改善・充実について、③大学病院をめぐる諸状況について、1) 医学部入学定員の推移及び医学部新設の現状、2) 地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の概要、3) 臨床研究関係、④大学病院における情報セキュリティについて等の講演と質疑応答が行われた。

3 第二部 シンポジウム 10:30～12:00

大久保 滋夫 東京大学技師長ならびに荒井 健 香川大学技師長を座長とし、「強み・特色のある大学病院検査部創りに向けての取り組み」をテーマとして、次の通りアンケート調査結果報告と、各大学で行われている「強み・特色のある取り組み」についての報告があった。

アンケート調査報告

荒井 健 香川大学技師長

1) 先端的医療について

松下 一之 千葉大学准教授

2) チーム医療について

岡田 健 岡山大学技師長

3) 地域医療について

東谷 孝徳 佐賀大学技師長

4) 研究支援室について

南 惣一郎 長崎大学技師長

5) ハイレベルな研究活動を通じた自立した研究者育成の取り組み

松下 正 名古屋大学検査部長

それぞれのテーマについて各大学から報告の後、出席者から活発な質疑・討論が行われた。

昼食 12:00~13:00

幹事会 12:00~13:00

5 第三部

(1) 議事 (I) 会務報告 13:00~13:40

矢富 裕 東京大学検査部長並びに大久保 滋夫 東京大学技師長の進行により、会務報告、幹事会報告、表彰楯及び感謝状贈呈が行われた。

なお、次々回の当番校は、次回当番校である防衛医科大学校を以って、会議に参加しているすべての国立大学が担当することになるため、前回担当から最も間隔が空いている九州大学でいかがかの提案があり、承認された。

(2) 議事 (II) 実態調査報告 13:40~14:00

荒井 健 香川大学技師長を座長とし、「平成26年度全国国立大学実態調査中間報告」と題し、小島 佳也 弘前大学技師長から実態調査集計結果の報告と、詳細なデータ解析結果の報告が行われた。

(3) 議事 (III) 講演 14:00~15:00

荒井 健 香川大学技師長を座長とし、「香川県の生活習慣病対策プロジェクト」と題し、村尾 孝児 香川大学検査部長から講演があった。糖尿病受療率の高い香川県の現状と対策、希少糖の紹介と糖尿病に対する有用性、糖尿病克服プロジェクトチーム「チーム香川」及びかがわ遠隔医療ネットワークシステム(K-MIX)の取り組みについての講演があった。

6 閉会 15:00

配付資料

- ・「第62回全国国立大学法人病院検査部会議」冊子
- ・特別講演「大学病院を取り巻く諸課題について」資料
- ・第二部 シンポジウム『アンケート調査報告』資料
- ・第三部 議事 (I) 平成26年度検査部会議会務報告資料
- ・第三部 議事 (II) 実態調査報告資料
- ・第三部 議事 (III) 講演資料
- ・香川大学 (医学部・医学系研究科・医学部附属病院) 概要
- ・病院 NEWS no. 372